

2025年度 学校評価委員会

令和8年3月

学校法人織田学園 おだ認定こども園

教育・保育の質をさらに高め、充実させていくために評価委員の皆さまに評価をお願いいたします。お忙しい中、申し訳ありませんが下記の表で回答をお願いします。なお、結果につきましては、自己評価と共にまとめたのち、当園ホームページで公表させていただきます。

1. 教育方針・教育目標

- ・豊かな生活体験を通して、自我の育ちを助長し「生きる力の基礎」となる「心情」「意欲」「態度」を培う
- ・自己肯定感の持てる子どもに「元気でたくましい子」「自分や人を大切に思える子」「感性豊かな子」

2. 教育理念

- ・おだは3つのたくましさを育てます「体のたくましさ」「心のたくましさ」「人と繋がるたくましさ」

3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価:A・・・達成できている/B・・・ほぼ達成できている/C・・・あまり達成できていない/D・・・達成できていない

評価対象	評価項目	園		学校関係者評価委員会	
		自己評価コメント	評価	意見	評価
地域との連携	園の教育・保育理念や方針を地域にわかりやすく伝えている。	遊歩道側に掲示板やお知らせがあると良いとの助言をうけているが、今年度実施できていない。青少協の定例会で取り組みをお知らせしている。SNSは担当者が力を入れて発信している。園のHPも現在リニューアル作業中である	B	・ホームページはは見やすく、必要な情報を掲載している。SNSにも注力している。 ・知ってもらうアピールの手段の工夫がほしい。 ・理念や教育方針のアピールが少ない。	ABBAA A
	園は、子どもたちが高齢者・近隣の小学生、地域の人々など自分の生活に関係の深い色々な人とに親しみを持つ交流の機会を取り入れている。	麻の葉さんとの交流は、年齢の幅がひろがり、乳児も交流の場を持たせていただいている。小学生ボランティアの実施や地域・保護者の読み聞かせなど、多様な人との関わりの場があることは評価できる。年長児の活動の中では近隣のコンビニエンスストアに訪問する機会ももてた	B	・乳児とデイケア利用者との交流は好評。社会性を育むうえで有意義な経験となっている。 ・学童クラブの見学や学校体験ができると良い。 ・環境に恵まれている。児童館との交流がよい。 ・地域交流や小学生の受け入れなど積極的に行っている ・地域とのつながりの中で感じる優しさや学びは成長に欠かせない。「心のたくましさ」にもつながる。	ABBAA A
	園は、地域の方からの相談を聞きやすい体制を取ったり、地域の子育て支援に取り組んでいる。	赤ちゃん食堂やプレクラスの実施など子育て中の保護者の支援を開かれた園として行っている。参加者同士の交流も深まり、支援の場となっている。父親や祖父母の参加もあった。わらべ歌の会も初めての試みとして実施。保育体験につなげたい	B	・新しい試みを実施していることや、父親祖父母の参加があることで、共同に育児を推進していることが良い。 ・保護者優先になってしまおうと思う。 ・評価委員会での5歳児の保育公開など開かれた姿勢が良い。 ・地域の親子の受け入れ機会を多く持ち、リフレッシュにつなげている。 ・食に通じての取り組みは交流の強み。園の行事に期待する。	BBAAB B
	園は、地域の活動や行事などに参加したり、園の情報を積極的に地域に対して発信している。	地域夏祭りやどんど焼きなど地域主催の大きなイベントに積極的に参加した。今年度も、場所提供として「まんまるわか市」を当園でおこなった。このように場所の提供という形でも、もっと積極的に地域に発信する機会を増やしたいと感じている。	B	・積極的に参加している。 ・学童行事などにも参加できると良い。 ・安心安全に重点をおく運営・地域との連携を評価する。 ・園に入りやすく見学しやすい雰囲気 ・地域の行事の参加ではお世話になっている。園児の来場も多い。	BABAA A
第三者評価	第三者評価受審の実施	2022年度 第三者評価受審済み 2025年度 第三者評価受審済み			